

●補装具

一人一人の身体の状態に合わせた補装具を使用し、学習に取り組めます。作製についても、ご家庭や関係機関と連携しています。

【車いす・パギー】



【座位保持装置】



【起立保持具・歩行器】



【装具類】



●支援機器

児童・生徒の「わかる」「できる」「楽しめる」を引き出すために、スイッチやパソコン、タブレット端末などの支援機器を活用しています。



学校行事

●運動会/体育大会



学部ごとに実施しています。各学部が趣向を凝らし、学習の成果を十分に発揮して、個人競技や団体競技で競ったり、みんなで踊ったりと大いに楽しんでいます。

●あさひ祭り



小・中学部の児童・生徒は、日々の学習の成果を体育館で発表します。高等部は、作業学習で作った製品の即売会や歌、楽器演奏などの「高等部祭」を行います。

●宿泊研修・見学旅行



宿泊研修(小5年・中2年・高2年)と見学旅行(小6年・中3年・高3年)があります。

●交流及び共同学習



交流校と一緒に学習します。
小学部・・・旭岡小学校
中学部・・・旭岡中学校
高等部・・・函館大妻高等学校

この他にも、入学式、卒業式などの学校行事があります。

児童・生徒が、持てる力を最大限に発揮し、学校生活を送ることができるよう、特別支援学校ならではの施設・設備・備品があります。下の写真はその一例です。



【水道】

手が届きやすいよう、蛇口ハンドルが長くなっています。



【トイレ】

手すりやベッドがあります。



【鏡】

下から見えやすいように、角度が斜めになっています。



【調理台】

車いすの高さに調節できます。



【廊下】

手すりがあり、廊下の床材には、クッション性のある材質のものを使用しています。

高等部卒業後の進路

卒業生の進路先は、生活介護事業所を利用する場合があります。その他に、就労継続支援事業所(B型)や障害者支援施設(入所)を利用する生徒もいます。

	卒業生	事業所等への通所		入所等	その他
		介護系 (生活介護)	就労系 (B型・地活等)		
～令和元年度	166	84	44	25	13
令和2年度	10	6	3	0	1
令和3年度	3	3	0	0	0
令和4年度	1	1	0	0	0
令和5年度	8	6	0	1	1
令和6年度	4	3	1	0	0

北海道函館養護学校

子ども 一人一人のもっている
よさや個性を 発揮できるようにし
心豊かに たくましく
社会で共に生きる力を育てる



2025年度版

めざす 児童生徒像

- 楽しんで学び続ける人（知）
- 互いのよさを認め合い、
人とのつながりをもてる人（情）

- 自分の考えを表現し、
生き生きと活動する人（意）
- 命と心身の健康を大切にする人（体）

小学部（16名）括弧内の数は令和7年4月1日現在

- 小学部では、さまざまな学習経験を通して、興味・関心の芽生えや広がり時期を大切にしながら、すすんで取り組んだり関わろうとしたりする気持ちを育てることをねらい指導をしています。
- 児童一人一人の発達段階や特性（興味・関心等）に合わせ、学習の内容を選択し、学級を主としながら必要に応じて個別、小集団、学部全体での指導を編成し学習しています。
- 児童一人一人の学習状況に合わせ、教科（音楽、体育、図工）や「各教科等を合わせた指導」（生活単元、日常生活の指導、かだい等）や「自立活動」の学習をしています。



居住地個別交流



旭岡小学校との交流



日常生活の指導



給食の様子

中学部（8名）

- 中学部では、生徒一人一人の良さや将来に必要な力を踏まえ、基礎・基本的な知識や技能の確実な定着、人との関わり合いの広がりをねらいとした指導をしています。
- 教科ごとに、生徒の学習状況に合わせた指導内容を選択し、一人一人の生徒が生き生きと学習できる学習グループ（個別、小集団、大集団）を編成し、教科担任を配置して指導をしています。
- 国語・数学などの教科の指導や、「生活単元学習」「作業学習」など各教科等を合わせた指導、自立活動の指導をしています。



交流学习



体育



生活単元学習



美術

【クラブ活動/児童生徒会活動】

- 小学部4年生から高等部3年生までの児童生徒が、みんなで協力しながら、興味・関心のある学習活動に積極的に取り組んでいます。



高等部（13名）

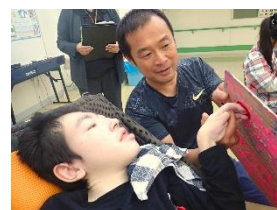
- 高等部では、生徒一人一人の良さを生かしながら、地域の環境（ひと、もの、こと）を積極的に活用した体験的な学習を通して、生活に密着した実践的な力を育てることをねらい指導しています。
- 生徒の学習の状況に応じ、教科や学習する内容を選択するとともに、生徒が生き生きと活動できるよう学習グループを編成し指導しています。
- 生徒が自らの在り方や生き方を考え、主体的に将来の進路を選択できるよう、事業所等の協力を得ながら「体験実習」に取り組んでいます。



作業学習



音楽の様子



生活単元学習



卒業を祝う会

訪問教育（小学部2名 中学部2名 高等部3名）

- 訪問教育は、「通学して教育を受けることが困難な児童・生徒に対して、家庭や病院に教員を派遣して行う教育」です。
- 訪問教育は、個別の指導計画に基づき一人一人の良さを大切にしながら、各教科や自立活動の学習を行っています。
- 生活経験の拡大を図るため、校外学習、学部や全校行事への参加を計画しています。
- ICTを使って学校とオンラインで結び、人との関わりを意識した学習を進めています。



始業式（オンライン参加）



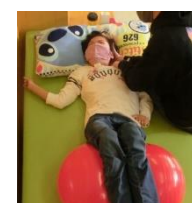
校外学習



宿泊研修

【自立活動】

- 自立活動は、「障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、自立し社会参加するための力を養う」学習です。自立活動教諭や関係機関と連携を図りながら指導しています。



寄宿舎（5名）

- 寄宿舎は学校教育法に基づいて設置され、遠隔地（函館市以外）に居住する児童・生徒の通学を保証する役割を担っています。規則正しい生活を送りながら、お互いに励まし合い、一人一人の可能性に向かって努力をする場とすることや、生活経験の拡充を図るとともに、将来の自立に向けた日常生活及び集団生活における諸能力の向上を図ることを目的としています。

【寄宿舎の一日の流れ（登校日）】

- 6:30 起床、洗面
- 7:45 朝食、歯磨き、登校準備
- 9:10 登校
- 13:30 ~15:10 下校（学年、曜日によって異なる）
- 入浴（週2回）
- おやつ、水分補給、自由時間
- 舎友会活動
- 17:00 夕食
- 18:30 自由時間、就寝準備
- 20:00 ~21:00 就寝（学年や個人によって異なる）



浴室



七夕会

- 寄宿舎には、舎室、食堂、浴室の施設があります。舎室は、1~2名で使い、ともに協力しながら生活しています。食事は全員そろって食堂で食べます。浴室は段差がなくスロープが設置されています。週2回の入浴の他、必要に応じてシャワー浴もします。

- 寄宿舎の生活では、「身の回りのこと」として自分でできることは自分ですることを基本としています。「余暇時間」もあり、地域の施設を利用したり好きな活動をしたりして過ごします。全員で活動する行事もあります。なかでも「お楽しみ会」が一番大きな行事で、毎年、保護者の方も参加し一緒に楽しんでいます。

【給食指導】

- 「食べる」ことも大切な学習の一つです。「おいしく・楽しく・ちょっと正しく」を合い言葉に、ご家庭と協力しながら取り組んでいます。給食は「普通食」「ソフト食」「ペースト食」を用意しており、児童生徒の状態にあわせた食事指導を行っています。



普通食



ソフト食



ペースト食

【アクセス・お問い合わせ】

〒042-0916 北海道函館市旭岡町2番地
TEL:0138-50-3311 FAX:0138-50-3312
MAIL:hakodateyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
※最寄りのバス停は、旭岡生協前・旭岡中学校前

